

株式会社 ひこね新開館 様

事業内容	地元野菜・加工品の直売、マックスバリュなどスーパーマーケットへの卸販売
導入目的	各卸販売先スーパーマーケット専用のバーコードラベルをスタンドアロンで印刷
導入概要	2015年11月より、TD-2130NSA 1台導入



ひこね新開館様は、地元野菜や地域特産加工品の直売所「あすばらだいす しんがい」を運営。約300名の生産者が作ったホワイトアスパラガス等の地元野菜の直売のほか、近隣スーパーマーケットへの卸販売も拡大中です。

●設立/2012年5月 ●資本金/1,000万円(地元生産者が出資) ●代表者/梅田和夫 ●所在地/滋賀県彦根市新海町2191 ●登録生産者/約300名

「スーパーへの卸販売を拡大するために、各卸先が指定する専用バーコードラベルを安価に印刷できる柔軟性が決め手でした。」

あすばらだいす しんがい | 株式会社ひこね新開館 | 青木 喜彦 様



直売事業に加え、販路をスーパーに拡大する際に、「TD-2130NSA」を導入しました。すでに使っていた直売品用のラベルプリンターの活用や、他のメーカーの製品も検討しましたが、いずれも非常に高額でした。TD-2130NSAは初期費用が極めて安価であるにも関わらず、機能はまったく見劣りしません。各スーパーで一人で行っていたラベルの発行と貼付を、自社店舗内で数人で実行できるので、作業時間も大幅に短縮されました。今後の販路拡大に必要な不可欠なプリンターだと高く評価しています。



出力見本 (原寸)

だから私は、ブラザーを選びました！

1 各卸先が指定するバーコード体系に、柔軟に対応。

スーパーへの卸販売を実現するためには、各スーパーが指定するバーコードラベルが必要でした。当初は納品先で、ラベル発行・貼付・商品陳列を一人で行っていたため、非常に煩雑な作業となっていました。TD-2130NSAの導入により、自社店舗内で各卸先専用のバーコードラベル発行が可能となり、作業時間も短縮されました。



2 価格が、既設ラベルプリンターや他製品と比べて約3分の1。

導入の前には、既存の直売用ラベルプリンターの使用も検討しましたが、システム側のデータ容量制限や更新費用等がネックとなり断念。また他のスタンドアロン型ラベルプリンターも価格が数十万円と高く、選定には至りませんでした。TD-2130NSAは初期費用が劇的に安価であり、また無料試用期間で十分な検証も可能でした。



3 販促ラベルの印刷や、直売品用ラベルのサブ機として活用も。

同社では今後スーパーへの販路を拡大し、卸販売の比率を50%に高める計画です。卸先ごとに柔軟にバーコードラベル発行が可能なTD-2130NSAは、同社の必須機器となっています。また直売品用ラベルプリンターのサブ機とすることや、地元野菜のおいしい食べ方を印刷したレシピラベル印刷など販促促進にも活用する予定です。



TD-2130NSA 操作パネル & 液晶ディスプレイ搭載。業務用感熱ラベルプリンター。

PCからでもスタンドアロンでもラベル発行

ラベルを自由に編集できるソフト無償同梱

さまざまなロール紙に対応する本体設計

※製品の仕様は弊社ホームページをご確認ください。